

TOTO

浴室すのこ カラリ床（浴室内すのこ）

EWB470型/EWB473型/EWB471型/EWB474型/EWB472型/EWB475型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上のご注意 （安全のために必ずお守りください）

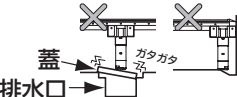
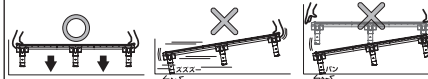
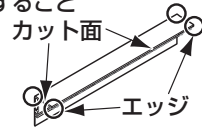
取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 禁止	すき間調整材は、入口側や浴槽のまたぎ付近など足をふみ込むおそれのある場所に設置しない すき間調整材とすのこの段差につまずいて転倒したり、すき間調整材が破損してけがをする原因になります。
	高さ調整の際、スペーサーは多くても（長）1個＋（短）1個まで連結し、それ以上連結しない 高さ調整範囲は60mm～172mmです。スペーサーを3個以上連結させて規定以上の高さですのこをセットすると、脚部が折れてユニットが不安定になり転倒してけがをする原因になります。
	ベースはカットしない ベースが破損しユニットが不安定になり、転倒してけがをする原因になります。
	変形プラン対応の際は、規定寸法以外での使用はしない ユニットが不安定となり、転倒してけがをする原因になります。
変形プラン対応は、壁側以外での使用はしない 指などを挟んだり、車いすが転倒してけがをする原因になります。	
手がかり部分を浴室の出入口、洗い場途中に配置しない 手がかり部に足が引っかかり、転倒してけがをする原因になります。	
サポーター、表面材のカット面のエッジ部分に手を触れない エッジ部でけがをする原因になります。	
手がかり部をつきあわせて配置しない すのこの短辺側をつきあわせて設置する場合、手がかり部をつきあわせて配置すると手がかり部のすき間に足が引っかかりけがをする原因になります。	

 警告	
 禁止	すのこの脚を不安定な床面（ガタつきのある排水口蓋の上や、脚の一部しか載らない急勾配の床面、段差など）に載せない ユニットが不安定となり、転倒してけがをする原因になります。 
	ユニット短辺側と壁（浴槽）とのすき間が10mm以下になるよう調整すること すき間に手・指を挟んだり、ユニットがずれて転倒してけがをする原因になります。
	ユニット長辺側と壁とのすき間が5mm以上ある場合は、ユニット長辺側の両端にすき間アジャスターを取り付けること すき間アジャスターは、壁とのすき間がないように取り付けること ユニットがずれて転倒してけがをする原因になります。
	ユニット長辺側と壁とのすき間が11mm以上ある場合はすき間カバーを取り付けること すき間カバーは壁とのすき間が5mm以下になるように取り付けること 指を挟みけがをする原因になります。
 必ず実行	すのこを床にセットする際は、傾けないで、そっと置くこと すのこを投げ出したり、斜めに押し込んだり、引きずったりすると脚部が変形してガタツキが生じ、転倒してけがをする原因になります。 
	隣接するユニットの段差は3mm以内に調整すること 段差部につまずき、転倒してけがをする原因になります。
	スペーサーはカチッと音がするまではめあわせること スペーサーが外れてユニットが不安定となり、転倒してけがをする原因になります。
	高さ調整後、ロックピンを差し込んでねじを締め付けること 細部にゆるみや折れが発生し、ユニットが不安定となり、転倒してけがをする原因になります。
表面材のカット面は端部カバーで覆うこと カット面で指をけがする原因になります。	
屋内浴室の洗い場に敷き詰めた状態で使用すること 守らないと破損したり、ユニットがずれて転倒してけがをする原因になります。	
すき間カバーのカット面のバリ・エッジ、四隅のエッジを処理すること バリ、エッジ部をさわり、けがをする原因になります。 	
付属の取付ねじを使用すること 付属の取付ねじを使用しないと、ねじが外れユニットが不安定になり、転倒してけがをする原因になります。	
取付ねじ頭のバリを処理すること けがをする原因になります。	

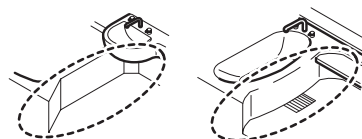
2

取り付け前に

1 浴室洗いが設置可能であることを確認する

【設置できない洗い場形状】

浴槽や壁、コーナー部が斜めや大きなR形状の場合



【すのこの脚を設置してはいけない床面】

ガタつきのある排水口蓋の上や、脚の一部しか載らない急勾配の床面、段差など不安定な床面



警告



禁止

すのこの脚を不安定な床面（ガタつきのある排水口蓋の上や、脚の一部しか載らない急勾配の床面、段差など）に載せない
ユニットが不安定となり、転倒してけがをする原因になります。

参考

排水口部の掃除用分割ユニットの設置位置を確認する

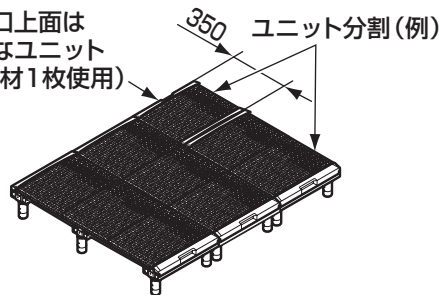
右図のように、排水口の上面を小さなユニットに分割することにより、排水口にたまったごみなどを簡単に掃除することができます。

1つのユニットを2つのユニットに分割する場合は以下の部品を別途発注ください。

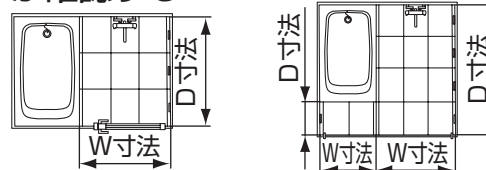
【別途必要な部品】

250幅	EW49012
300幅	EW49013
400幅	EW49014

排水口上面は
小さなユニット
(表面材1枚使用)



2 浴室洗いの寸法を確認し、必要なユニット数が揃っているか確認する



●W寸法にあったサイズのユニット選ぶ。

950サイズ、1250サイズのうち、W寸法以上の長さのユニットを選んでいくか確認してください。

W寸法は、すのこユニットをカットして調整します。

(1250以上の場合は標準品では対応できません。すのこユニットを並べて設置してください。)

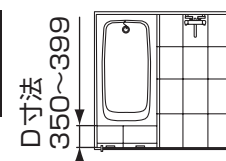
※すのこの短辺側をつきあわせて設置する場合に、端部カバー（手がかり付）が浴室の出入口側、または洗い場途中に設置される場合は、端部カバー（手がかりなし）250幅：品番EW41213、300幅：品番EW41223、400幅：品番EW41225を別途用意し、手がかり付を手がかりなしに取り替えてください。

●D寸法に必要なユニットを準備する。

D寸法は、250幅ユニット、300幅ユニットと400幅ユニットを組み合わせ調整します。右表を参考に必要なユニット数が準備されているか確認してください。

※W寸法は幅、D寸法は奥行きです。

【D寸法が
350～399mm】
の場合



※ユニットの向きを逆にして長さ方向をカットし調整してください。

D寸法	ユニット必要数			ユニット 総枚数
	250幅	300幅	400幅	
0～ 249	セットできません			
250～ 299	1			1
300～ 349		1		1
350～ 399	左図参照ください			
400～ 449			1	1
500～ 549	2			2
550～ 599	1	1		2
600～ 649		2		2
650～ 699	1		1	2
700～ 749		1	1	2
750～ 799	3			3
800～ 849			2	2
850～ 899	1	2		3
900～ 949		3		3
950～ 999	1	1	1	3
1000～1049		2	1	3
1050～1099	1		2	3
1100～1149		1	2	3
1150～1199	1	3		4
1200～1249			3	3
1250～1299	1	2	1	4
1300～1349		3	1	4
1350～1399	1	1	2	4
1400～1449		2	2	4
1450～1499	1		3	4
1500～1549		1	3	4
1550～1599	1	3	1	5
1600～1649			4	4
1650～1699	1	2	2	5
1700～1749		3	2	5

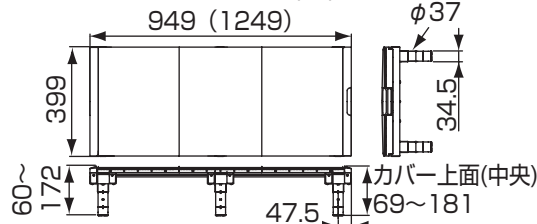
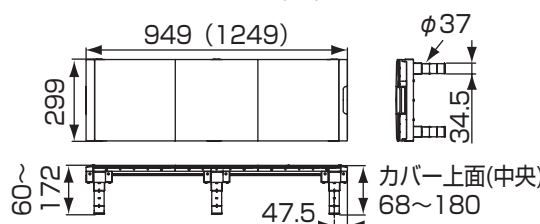
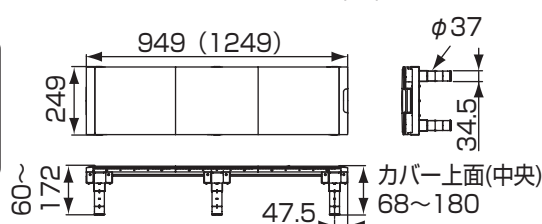
3

寸法図

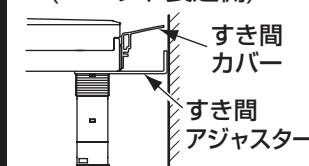
【250サイズ】 EWB470 ()内はEWB473

【300サイズ】 EWB471 ()内はEWB474

【400サイズ】 EWB472 ()内はEWB475



4 すき間調整材(別売品)の納まり図 (ユニット長辺側)

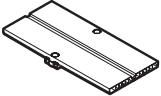
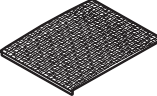
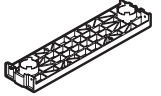
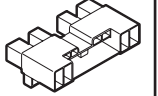
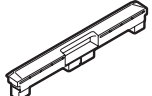
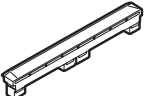


3

部品の確認

次の部品があることを確認してください。 ※ 950サイズはEWB470・471・472型です。
1250サイズはEWB473・474・475型です。

すのこ

部品名称		サポーター(ベース付)	表面材	ベース	ジョイント材		取扱説明書	
部品イラスト								
同梱 数	950サイズ	1	3	2	2		1	
	1250サイズ	1	4	2	2			
部品名称		端部カバー(手がかり付)	端部カバー(手がかりなし)	スペーサー(長)	スペーサー(短)		施工説明書	
部品イラスト								
同梱 数	950サイズ	1	1	6	6		1	
	1250サイズ	1	1	8	8			
部品名称		調整脚	ロックピン	座	取付ねじ(15mm)	取付ねじ(42mm)	番号ラベル	組立設置後の確認シート
部品イラスト								
同梱 数	950サイズ	6	6	6	20	16	1	1
	1250サイズ	8	8	8	24	18	1	

すき間調整材 (別売品)

部品名称	すき間カバー	すき間アジャスター	サンドペーパー	取付ねじ(15mm)	平座金	注意ラベル
部品イラスト						
同梱個数	5~10mm用 11~50mm用 (950サイズ) 11~50mm用 (1250サイズ)	— 2 2	— 1 1	8 14 16	8 8 8	— 1 1

別売品

部品名称	脚取り外し治具
部品イラスト	
品番	EW38002

必要工具

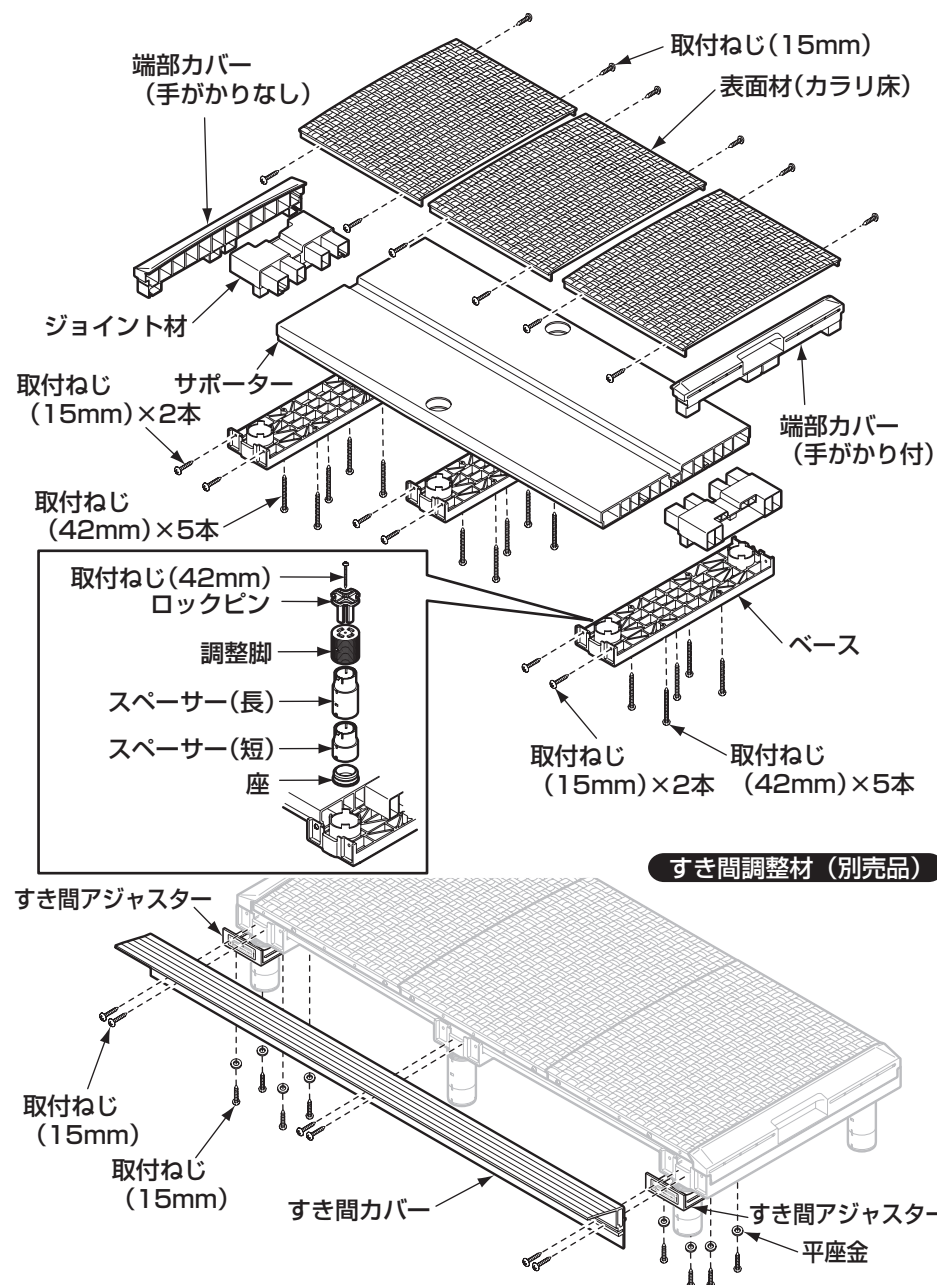
工具名称	プラスドライバー	ノコギリ	水準器	やすり	ドリル刃(φ4.5) (すき間調整材用)	プラスチックカッター (すき間調整材用)
工具イラスト						

おすすめ工具

工具名称	電動ドライバー	電動丸ノコ
工具イラスト		

4

各部のなまえ



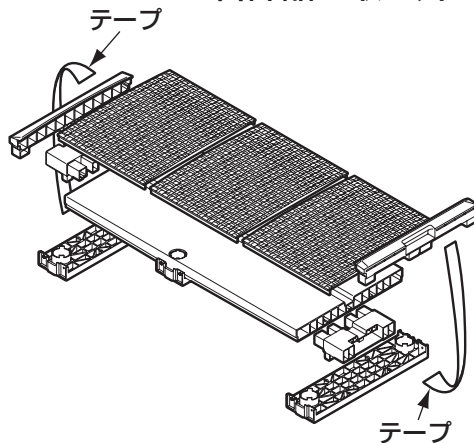
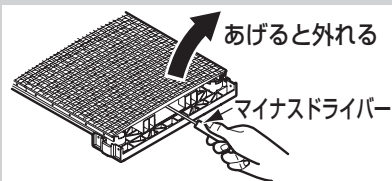
5

すのこの長さ調整（カット）

1 すのこについている両端のテープをはがし、各部品を取り外す

ポイント

表面材が外れにくい場合は、サポーターの中央部の溝にマイナスドライバーを差し込み、上にあげると外れます。



2 設置する洗い場の仕上がり寸法(洗い場(W)寸法-10mm)にあわせてカット寸法を決め、油性マーカーなどで切断線をひく

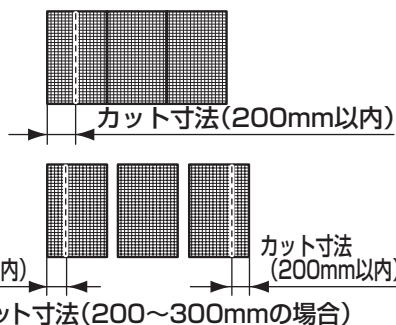
【カット寸法の算出方法】

$$\text{カット寸法} = \text{すのこ標準寸法(950/1250mm)} - \text{仕上がり寸法(W寸法-10mm)}$$

サポーター部



表面材



警告

！ 必ず実行
ユニット短辺側と壁(浴槽)とのすき間が10mm以下になるよう調整すること
すき間に手・指を挟んだり、ユニットがずれて転倒してけがをする原因になります。

ポイント

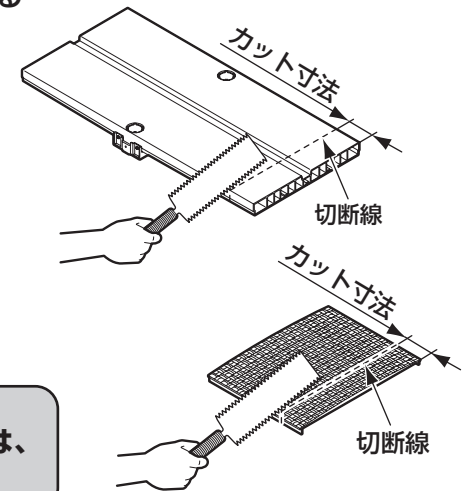
● カット寸法が300mmを超える場合は、両端からのカットが必要です。

ポイント

● カット寸法が200mm以上の場合は、2枚の表面材をカットして、表面材が100mm以上になるようにしてください。
● 表面材の長さは300mmです。カット寸法が300mmを超える場合は、表面材が1枚不要になります。

3 切断線にあわせてカットする

① サポーターをカットする。

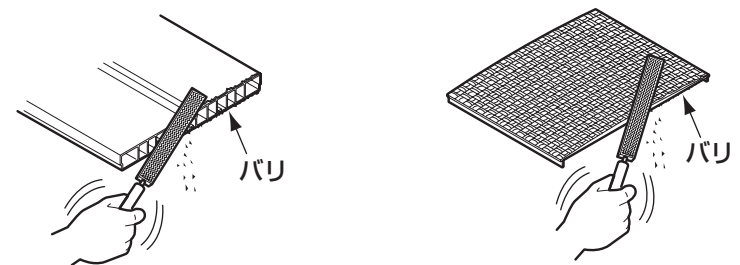


② 表面材をカットする。

ポイント

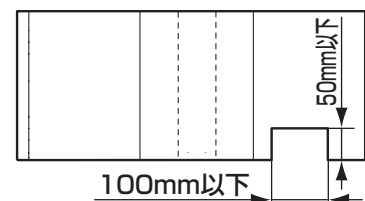
電動丸ノコでカットする場合は、塩ビ用の刃を使ってください。

4 やすりがけをして、切り口のバリなどを取り除く



変形プラン対応

浴室に洗面器配管などがある場合は、以下のカットで対応ください。



警告

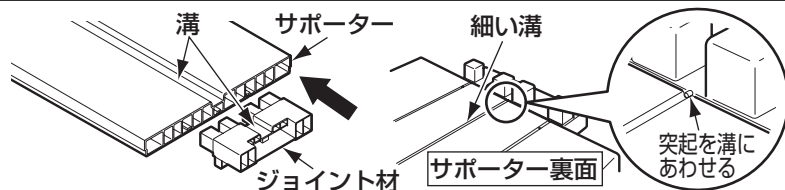
！ 禁止
ベースはカットしない
ベースが破損して本体が不安定になり、転倒してけがをするおそれがあります。

6-1 土台部の組立

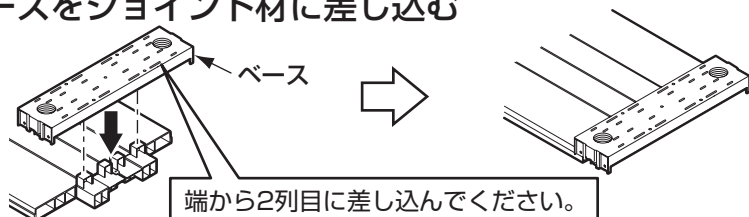
1 カットしたサポーターにジョイント材を差し込む

ポイント

- サポーターの溝とジョイント材の溝をあわせて、ジョイント材を差し込みます。
- サポーター裏面の細い溝にジョイント材の小さな突起が合っているか確認してください。

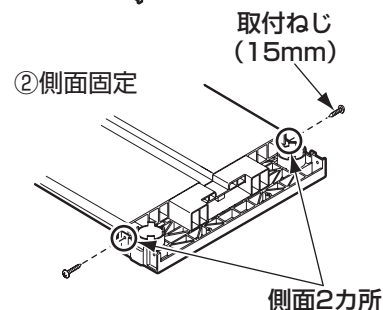
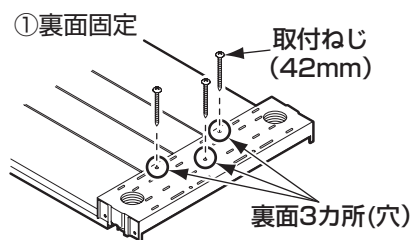


2 ベースをジョイント材に差し込む



3 ベースをサポーターに固定する

- ①ベースを取り付けたサポーターを裏返し、取付ねじ(42mm)で、ベース裏面の穴3カ所を固定する。
- ②取付ねじ(15mm)で、側面2カ所を固定する。
※ねじの締めすぎにご注意ください。
※電動ドライバー使用のときは小さいトルクに設定してください。
※インパクトドライバーは使用しないでください。



警告

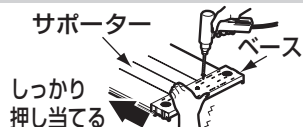


必ず実行

付属の取付ねじを使用すること
付属の取付ねじを使用しないと、ねじが外れ本体が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

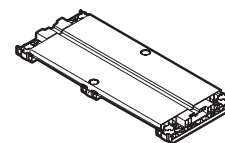
ポイント

取り付けのときに、ベースをしっかりとサポーターに押し当てて、ねじで固定してください。



6-2

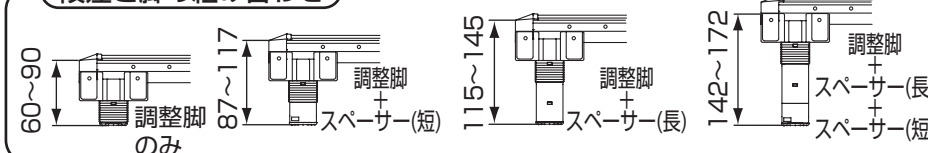
〈土台の完成図〉



7-1 土台部の高さ調整

1 段差にあわせて、脚を組み立てる

段差と脚の組み合わせ



ポイント

脚の組み合わせは、短目の高さで組み合わせてください。
脚の組み合わせが長すぎる場合、スペーサーを取り外し、再度組み合わせる必要があります。
スペーサーの取り外しには別売の脚取り外し治具(EW38002)を使用すると便利です。

〈脚取り外し治具(EW38002)の使いかた〉

① 両側の穴に治具の突起をあわせて
② つめを内側に押し込んだ状態で
スペーサーのつまみを内側に押す。



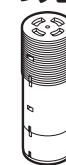
② つめを内側に押し込んだ状態で
スペーサーを取り外す。

① 必要なスペーサーを回しながらつまめ部が穴にカチッと音がするまで入れる。

② 座を取り付ける。

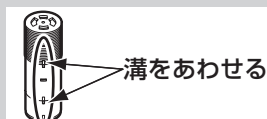


〈脚の完成図〉



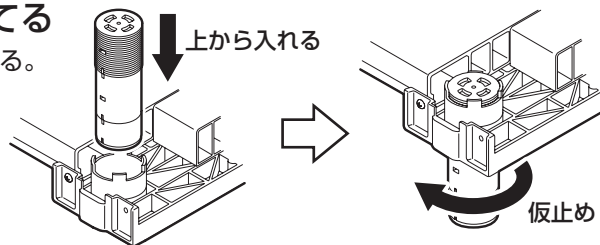
ポイント

調整脚、スペーサー(長)、およびスペーサー(短)の溝が、それぞれ合っていることを確認してください。



2 ベースに脚を組み立てる

脚を上から入れて仮止めをする。

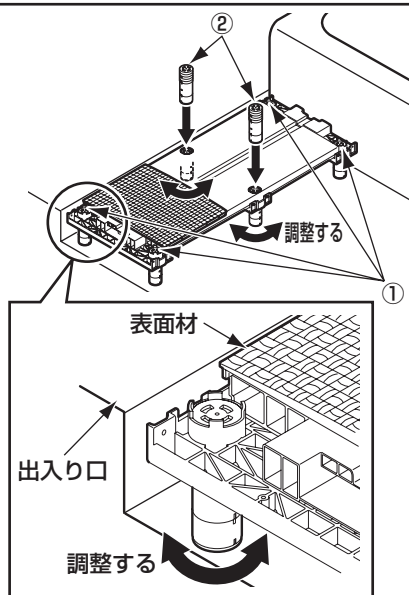


3 土台部を設置して高さを調整する

(1)表面材を仮置きし、最終的に表面材を取り付けた状態を想定して、出入り口と同じ高さになるように調整する

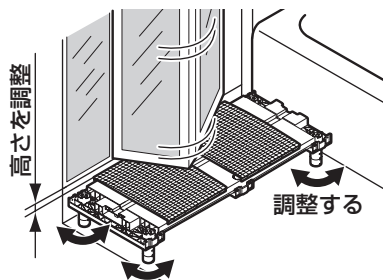
①4隅の脚を調整する。

②中央の脚を調整する。



浴室の扉が洗い場側に開く開戸・折戸の場合

- ・表面材の高さを出入口から数mm下げてください。
- ・表面材は中央部が高くなっているため、扉を開閉してこの部分が引っ掛からないことを確認してください。



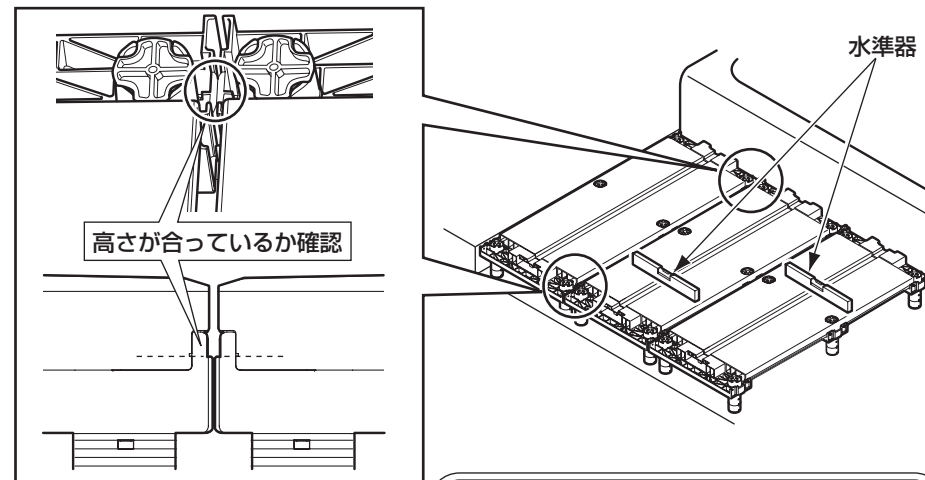
ポイント

高さの微調整はロックピンを調整脚に差し込み、まわして行います。



(2)土台サポーター上面の高さが同じ高さになるように、高さ調整する

※水準器を使って水平が出ていることを確認してください。



警告



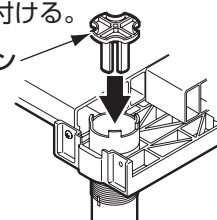
必ず実行

隣接するユニットの段差は3mm以内に調整すること
段差部でつまずき、転倒してけがをする原因になります。

4 脚を固定する

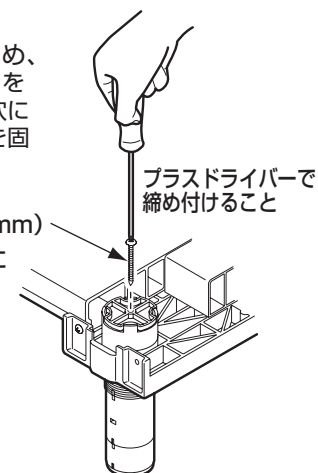
①ゆるみ防止のため、ロックピンを取り付ける。

ロックピン



②ガタツキ防止のため、取付ねじ(42mm)をロックピン中央の穴にねじ込み、調整脚を固定する。

取付ねじ (42mm)
※ねじの締めすぎにご注意ください。



③脚を取り付けたあとに、脚のガタツキがないかを確認してください。ガタツキがある場合は、取付ねじを外し、ロックピンを使い、再調整してください。

8

表面材、端部カバーの取り付け

1 表面材・端部カバーを取付けて仮組みします。

- ①端部カバー(手がかり付)をベースに差し込む。
- ②表面材を端部カバーに差し込んで仮固定する。

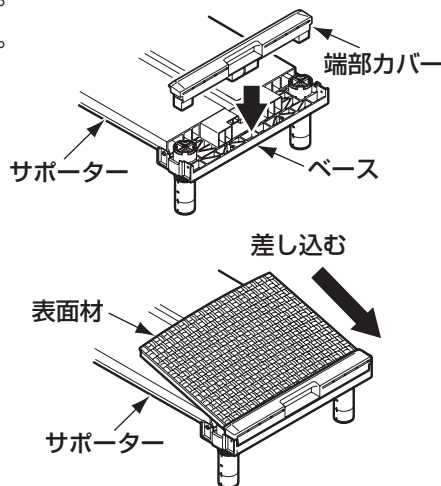
注意

- 表面材のカット面が必ず端部にくるようセットしてください。
- 表面材・端部カバーを仮固定した状態で洗い場に設置し問題ないことを確認してください。
- 表面材同士を押しあてて、すき間が生じないようにしてください。

警告

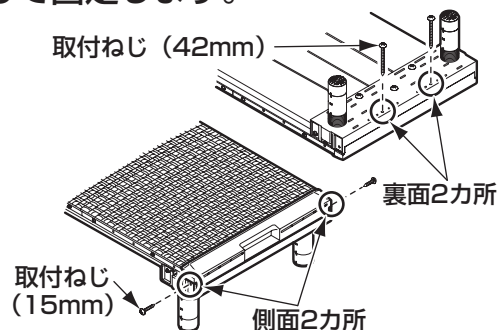


必ず実行 表面材のカット面は端部カバーで覆うこと
カット面で指をけがする原因になります。



2 端部カバー・表面材を取付ねじで固定します。

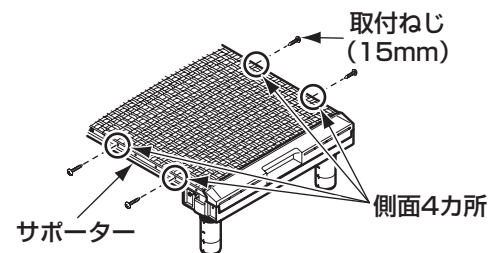
- ①端部カバーは、まず裏面2カ所を取付ねじ(42mm)でベースに固定する。次に、側面2カ所を取付ねじ(15mm)でベースに固定する。
※ねじの締めすぎにご注意ください。
※電動ドライバー使用のときは小さいトルクに設定してください。
※インパクトドライバーは使用しないでください。
※付属の取付ねじをご使用ください。



- ②表面材は、側面4カ所を取付ねじ(15mm)でサポーターに固定する。

ポイント

4隅の穴を利用するが、端の穴がベースにかかる場合は、隣の穴を利用してください。

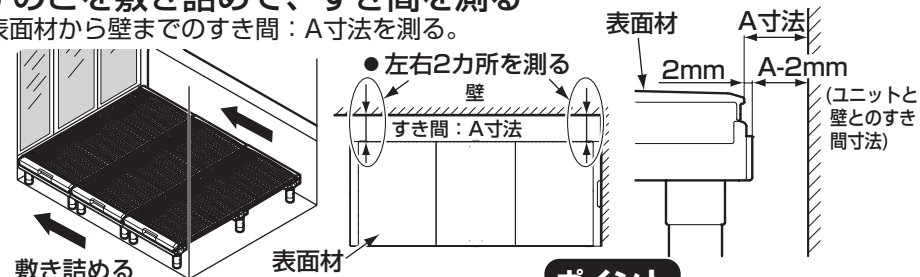


9-1

すき間調整材の取り付け・ラベル貼り付け

1 すのこを敷き詰めて、すき間を測る

- ①表面材から壁までのすき間：A寸法を測る。



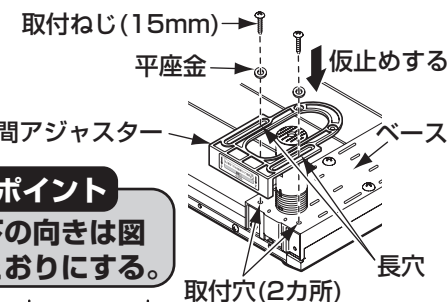
ポイント

ユニットと壁とのすき間寸法=A-2mm

2 A-2mmが5mm以上の場合

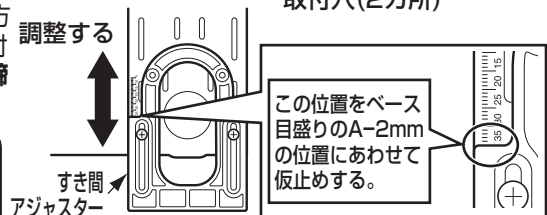
すき間アジャスターを両端のベースに2カ所取り付ける

- ①ベース裏面取付穴2カ所にすき間アジャスターの長穴をあわせ、取付ねじ・平座金をセットしてすき間アジャスターを仮止めする。
- ②すき間寸法(A-2mm)にあわせてすき間アジャスターの位置を調整する。
- ③すのこを床に敷き、すき間アジャスターと壁とのすき間がないことを確認する。
すき間アジャスターと壁とのすき間がある場合は、再度すき間アジャスター位置を再調整する。
- ④位置が決まったらすき間アジャスター後方2カ所の穴にも平座金をセットして取付ねじで固定し4カ所のねじをしっかりと締め付ける。



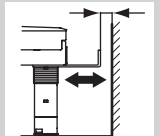
ポイント

上下の向きは図のとおりにする。



注意

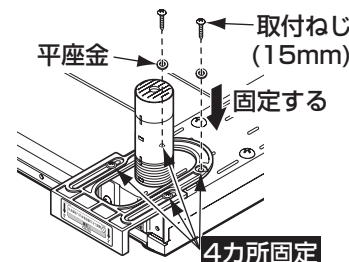
すき間アジャスターと壁とのすき間がなくなるように調整する。



警告



ユニット長辺側と壁とのすき間が5mm以上ある場合は、ユニット長辺側の両端にすき間アジャスターを取り付けること
すき間アジャスターは、壁とのすき間がないように取り付けること
ユニットがずれて転倒してけがをする原因になります。



3 A-2mmが11mm以上の場合

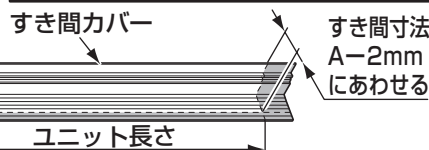
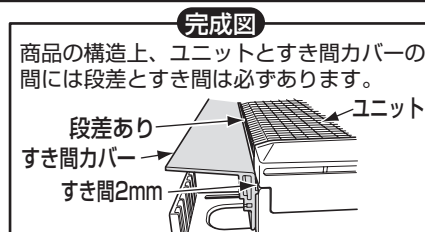
すき間カバーを取り付ける

※すき間カバーの長さ・幅をカットして調整します。

長さ→ユニットの長さにあわせる
幅→すき間寸法A-2mmにあわせる

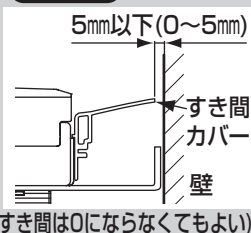
- (1)すき間カバーを裏向きにして、切断線を油性マーカーなどでひく

裏面のガイド溝



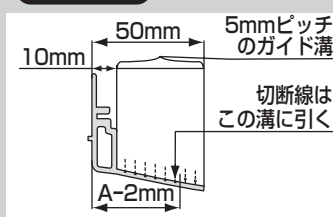
注意

すき間カバーの幅は壁とのすき間が5mm以下にする



ポイント

切断線はA-2mmよりも幅が小さくなる溝の中で、最もA-2mmに近い溝に引く



警告

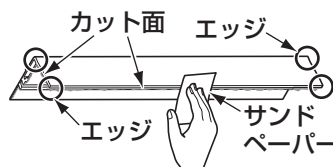
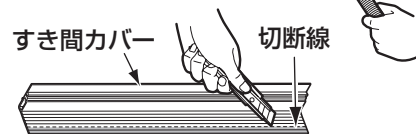
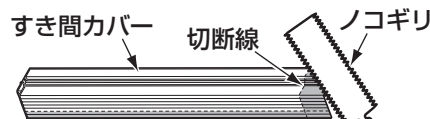


必ず実行

ユニット長辺側と壁とのすき間が11mm以上ある場合はすき間カバーを取り付けること。すき間カバーは壁とのすき間が5mm以下になるように取り付けること。指を挟みけがをする原因になります。

(2)切断線にあわせてカットする

- ①長さ調整寸法にあわせてノコギリでカットする。
- ②すき間調整寸法にあわせて、プラスチックカッターまたはのこぎりでカットする。
- ③付属のサンドペーパーでカット面のバリ、エッジを取り除いてください。最後に触手にてバリ・エッジがないことを確認してください。



警告



必ず実行

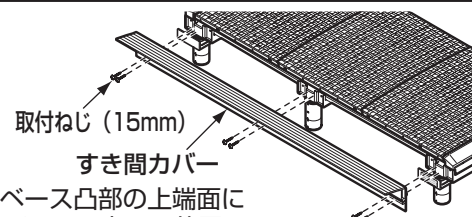
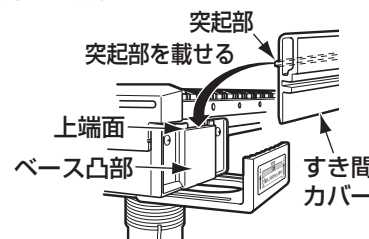
すき間カバーのカット面のバリ・エッジ、四隅のエッジを処理すること。バリ、エッジ部を触り、けがをする原因になります。

(3)すき間カバーを取り付ける

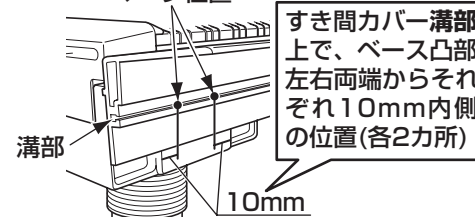
ポイント

ねじ止めはすべてのベースに各2カ所ずつ行う

- ①すき間カバーの突起部をすべてのベース凸部の上端面に載せて押し当て、すき間カバーの各ベースの右図の位置に2カ所ずつ油性マーカーなどでマークをつけます。



マーク位置

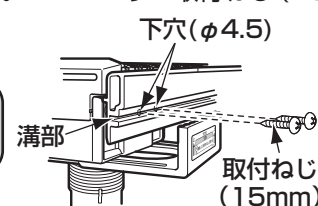


- ②すき間カバーのすべてのマーク位置にドリルでφ4.5の下穴をあけます。



注意

ベースには下穴をあけないこと!



ポイント

すき間カバーの突起部をベース凸部の上端面に載せて下穴位置にねじ固定します。

4 注意ラベルを貼り付ける

すき間カバーの上面にすき間カバー同梱の注意ラベルを貼り付ける。すき間カバーの幅が狭く(35mm未満)、ラベルが上面に貼れない場合は、浴室壁など目立つ部分に貼り付ける。

5 番号ラベルを貼り付ける

各ユニットの裏面などに番号ラベルを貼り付ける。(各ユニットの設置した位置・向きがわかりやすくなります。)浴室の壁面(ユニットで隠れる下の部分)にユニットにあわせて番号ラベルを貼ると、さらにわかりやすくなります。

10 施工後の確認

同梱の組立設置後の確認シートに沿って確認してください。

※この施工説明書と同梱の取扱説明書と組立設置後の確認シートは、必ずお客様にお渡しください。